

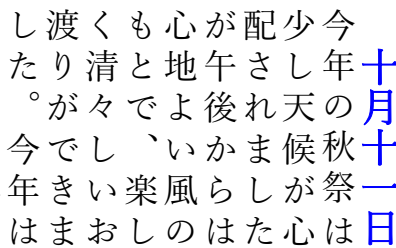
だより

田殿丹生神社

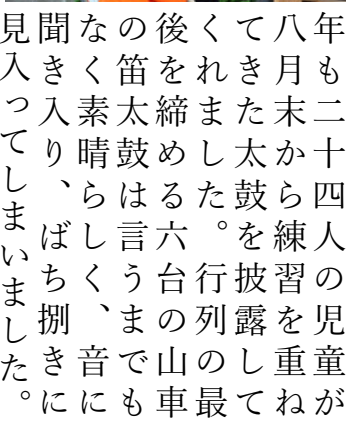
宮司 嶋田

鳴田博文

例大祭



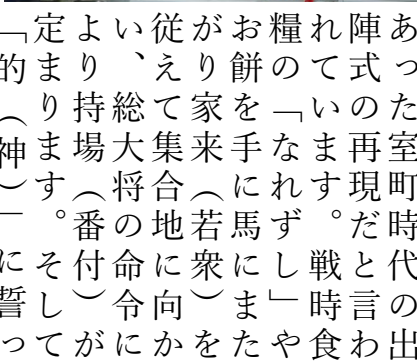
山で御輿を曳き、今



A large crowd of people is gathered outdoors for a festival or event. In the background, a stage is visible with several banners, including one with the text "FESTIVAL OF THE RIVER". The sky is overcast and grey. The crowd is seen from behind, looking towards the stage area.

次代へ繋ぐ大切な伝統行事

十月には各地で秋祭りが行われ、なれずしやご馳走で大勢が楽しみ、社交的な役割も果たしています。様々な説がありすが、このような楽しむお祭りは江戸時代からのもので、有田地方のお祭りは、徳川幕府への無言の抵抗であつたかもしれないが、暮らしやすかつたと言われた畠山氏が守護職で



て出陣するのですが、先陣争いをして
抜いたとか邪魔だとかで喧嘩などが起
こりました。田殿丹生神社でもかつて
は馬が出て、武者行列もありました。
時代とともに祭礼行事も変わってまし
たが、御輿渡御、三面獅子舞、山車の
笛太鼓など、永く引き継がれている地
域の財産である伝統行事は先代から託
された次世代に引き渡す大切な預かり
ものですよ。この
れからもこの
素晴らしい宝
を地域全体で
守るため、神
社として精一
杯お手伝いさ
せていただき
たいと思っ
ています。



芸能保存会よりお礼申し上げます

本年の秋祭りを盛り上げてくださつた三面や山車に対して、皆様方から大きなご声援並びに各方面よりご祝儀をいただきましたこと、田殿丹生神社芸能保存会よりこの場をお借りいたしましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

令和八年 一番字は角区

五巡目に入った三面の責任区（一番字）の順番は、来年は角区が一番字となっています。その後は田口・上中島・井口・出・尾中・大谷・賢の順となっていていますが、田殿地区全体が責任区に協力をするのを今年も区長会・総代会で確認してくださいました。失ってはいけない三面や山車の継承には工夫しなければならぬ大きな課題があります。どうかこれからいろいろな方のお知恵とお力をいただきたく、よろしくお願いいたします。

小雨の中の清掃奉仕

十月四日早朝より敬神婦人会の理事さん方が境内や社殿、参集殿の大掃除をしてくださいました。今年はいにくの小雨でしたが、雨合羽を着ながら境内や社殿、参集殿など細かなところまで清掃してくださいました。お陰様で気持ちの良い秋祭りを斎行することができました。冬に向かってさらに落ち葉が舞ってきます。どうかこれからもお助け下さい。



わらまみれでのしめ縄づくり

十月一日、総代さん方がしめ縄づくりのご奉仕をしてくださいました。香り高い新わらをきれいに整えて、大小二十五本のしめ縄を作り上げてくださいました。今年も総代OBやお手伝いの方も参加してください、賑やかにご奉仕してくださいました。年末に総代さん方の手で掛けかえてくださいます。



神宮大麻をおまつり下さい

十月二十六日、和歌山県神社庁有田支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が須佐神社にて行われました。新年には伊勢神宮のお神札（おふだ）「神宮大麻」

を田殿丹生神社のお神札とともにお届けさせていただきます。氏神さまは私たちをお守りくださる身近な神さま。お伊勢さまは日本をお守りくださる総氏神さまです。氏神様のお神札と共に神宮大麻をおまつりください。

七五三詣 お子様の成長を感謝

七五三は三歳の「髪置」五歳の「袴着」七歳の「帯解」に由来し、秋の収穫の後に子どもたちの成長をお祝いし、氏神様に感謝をしたのが現在に至っています。田殿丹生神社ではお守りや千歳飴、お土産を用意し、皆さんのご参拝をお待ちしています。ご希望の日時をご予約下さい。お待ちしております。

田殿丹生神社の歴史探訪

県立博物館のお力をお借りし、田殿丹生神社の御神像と歴史を見つめ、お身代わり像の作成を体験する行事を計画しています。詳細につきましても改めましてお知らせいたしますが、一月二十五日（日）、会場は田殿公民館を予定しています。



年末年始の予定です

十二月 一日	月並祭・鎮火祭（火の用心御祈禱）
十二月 十一日	冬祭り（三から牛の絵馬に掛け替え）
十二月 三十日	しめ縄掛け替え
一月 一日	元旦祭
一月 三日	家内安全祈願祭
一月 十一日	成人奉告祭
一月 十五日	粥占い

古神札焚上式（旨にご持参ください）

ご指導ありがとうございました

秋祭前の九月、昭和二十六年から約七十年間にわたり三面獅子舞を指導してくださいました。溝上さんの芸は当社はもとより県下の数々の神社に伝わり残っています。三面の話題になると必ず名前があがる名師匠でした。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



田殿丹生神社

